

平成29年度 第1回食品技能検定

第3類 筆記試験

注意事項

1. 試験時間は50分です。
2. 試験監督の指示があるまで、問題用紙を開いてはいけません。
3. 解答は全て解答用紙に記号（1～4）で記入してください。
4. 問題には【共通問題】と【選択問題】があります。
 - ①【共通問題】は受験者全員が解答してください。
 - ②【選択問題】は（食品管理分野）と（食品流通分野）の2つがあります。いずれか1つの分野を選択し、解答してください。（両方の分野を解答してはいけません。）
5. 試験終了後、問題用紙・解答用紙とも試験監督に提出してください。

全国水産高等学校長協会
教科「水産」研究委員会（食品部会）

【共通問題】 20問

問1 ISOに関する記述で正しいものを選びなさい。

- (1) 品質保証システムを規格化する機関がISOである。
- (2) ISOとは国連食糧農業機関の略である。
- (3) ISOとは各国の規格を自由化する機関である。
- (4) 工業製品と食料品に限り国際的な規格を定める機関である。

問2 食品や飲食器、調理器具などの汚れや微生物、有害物を水や洗剤などにより取り除くことを「洗淨」という。次のうち「洗淨」にあたらぬものを選びなさい。

- (1) 水洗い
- (2) 布巾で表面を拭く方法
- (3) 洗剤を使用する方法
- (4) 温水洗い

問3 食品衛生上において使われる消毒の方法には、「物理的方法」と「化学的方法」がある。この「物理的方法」のうち、「加熱による方法」として誤っているものを選びなさい。

- (1) 乾熱消毒：乾熱滅菌器などで、低温の乾燥した空気により、長時間乾燥する方法。
- (2) 焼却：病原微生物に汚染されたものを焼却炉で焼き捨てる方法。
- (3) 蒸気消毒：消毒釜を用いた流通蒸気を用いる方法と高圧滅菌器を用いた高圧蒸気による方法。
- (4) 煮沸消毒：沸騰した十分な量のお湯の中で、5～30分間加熱する方法。

問4 次の文中の(ア)～(ウ)に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

1992年6月にブラジルのリオ・デ・ジャネイロにおいて、(ア)と(イ)に関する国連会議(地球サミット)が開催され、地球規模で(ウ)に対する取り組みについて話し合われた。

- (1) ア. 自然 イ. 破壊 ウ. 環境問題
- (2) ア. 自然 イ. 開発 ウ. 衛生問題
- (3) ア. 環境 イ. 破壊 ウ. 衛生問題
- (4) ア. 環境 イ. 開発 ウ. 環境問題

問5 「水産加工排水の処理」について誤っているものを選びなさい。

- (1) 物理的処理法は、排水中の浮遊物や沈殿物を除去することを目的として行われる。
- (2) 化学的処理法としては、排水中の汚濁原因物質を沈殿・除去しやすくするためのpH調整法、酸化法、凝集法などがある。
- (3) 生物的処理法は、排水中の有害微生物を死滅させる方法である。
- (4) 化学的処理法は、他の方法と組み合わせると排水処理の効果が高くなる。

問6 次の文中の（ア）～（エ）入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

水産加工業の臭気は、周囲の（ア）に悪影響を与えるものとして、問題になっている。臭気の発生をできるだけ抑えるため、新鮮な原料を使用し、外部に臭気を出さないよう設備工場の（イ）を図り、工場内の洗浄を十分に言い、（ウ）を設けるなどの配慮が必要である。（ウ）には、（エ）、吸着法、オゾン酸化法などがある。

- （1）ア．農作物　イ．密閉化　ウ．防臭設備　エ．拡散法
- （2）ア．農作物　イ．低温管理　ウ．防塵設備　エ．燃焼法
- （3）ア．環境　イ．密閉化　ウ．防臭設備　エ．燃焼法
- （4）ア．環境　イ．低温管理　ウ．防塵設備　エ．拡散法

問7 飲食に起因して人の健康を損なうおそれのある食品や添加物として販売を禁止されているものがあるが、次のうちそれに該当しないものを選びなさい。

- （1）不潔、異物の混入または添加その他の事由により、人の健康を損なうおそれのあるもの。
- （2）色、色調、形などが異常で、商品価値がほとんど無いもの。
- （3）病原微生物によって汚染され、またはその疑いがあり、人の健康を損なうおそれのあるもの。
- （4）有毒な、もしくは有害な物質が含まれ、もしくは付着し、またはこれらの疑いのあるもの。

問8 次の文中の（ア）～（エ）入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

食品関係の営業の中で飲食店営業など（ア）に与える影響の大きな営業に対しては、（イ）の許可を受けなければならない。なお、（イ）は（ウ）に必要な基準を設けるように規定されている。この基準を満たし、（イ）の（エ）を得たものでなければ営業できない。

- （1）ア．自然環境　イ．都道府県知事　ウ．地域別　エ．許可
- （2）ア．公衆衛生　イ．厚生労働大臣　ウ．業種別　エ．臨検
- （3）ア．自然環境　イ．厚生労働大臣　ウ．地域別　エ．臨検
- （4）ア．公衆衛生　イ．都道府県知事　ウ．業種別　エ．許可

問9 「実験の心得」として、正しいものはいくつあるか、選びなさい。

- ア 実験をはじめる前に、実験の結果をあらかじめ予測しておくことと先入観となるので、あまり予測はしないほうがよい。
- イ 手順よく実験を進めるために、実験に必要な試料、試薬、器具などを準備しておくのがよい。
- ウ 実験は自分で言い、自分で観察し、自分で考えることが基本である。
- エ 能率よく安全に実験を行うためにも整理、整頓に心掛ける。

- （1）3つ　（2）4つ　（3）1つ　（4）2つ

問10 水産食品の微生物試験について、誤っているものはいくつあるか、選びなさい。

- ア 一般に、食品の細菌を検査する目的は、食品が、ネズミや有害昆虫に汚染されていないことを確認することである。
- イ 食品の細菌を検査する目的は、処理過程で衛生的に取り扱われたことを確認することである。
- ウ 微生物試験はかなりの時間がかかるので、食品の検査方法としてはあまり用いられない。
- エ 汚染指標細菌として、サルモネラや腸炎ビブリオが用いられる。

- （1）4つ　（2）1つ　（3）2つ　（4）3つ

問11 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

現在の経済社会では、商品の生産と消費との間に、さまざまな隔りがある。第一に生産と消費との間には生産する人と消費する人が違うという、（ア）的隔りがある。第二に生産される地域と消費される地域が違うという（イ）的隔りがある。第三に生産される時期と消費される時期が違うという（ウ）的隔りがある。

- (1) ア. 場所 イ. 時間 ウ. 人
- (2) ア. 人 イ. 場所 ウ. 時間
- (3) ア. 時間 イ. 人 ウ. 場所
- (4) ア. 人 イ. 時間 ウ. 場所

問12 次の文中の（ア）、（イ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

商品には食料品などのような（ア）なもの、保険やサービスなどのような（イ）なものがある。また、製品には試作品や試供品、自社消費用品のように商品でない製品もある。

- (1) ア. 無形 イ. 有形
- (2) ア. 食用 イ. 不食用
- (3) ア. 食用 イ. 書類的
- (4) ア. 有形 イ. 無形

問13 次の文中の（ア）～（エ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

水産物の流通経路が複雑な理由として、水産物は種類が（ア）、商品としての品目や仕分けが（イ）であること。品質低下が（ウ）、また消費者は新鮮さを最も重視するので、（エ）な流通を必要としていることなどがあげられる。

- (1) ア. 少なく イ. 多様 ウ. 速く エ. 迅速
- (2) ア. 多く イ. 多様 ウ. 速く エ. 迅速
- (3) ア. 多く イ. 簡単 ウ. 遅く エ. 複雑
- (4) ア. 少なく イ. 簡単 ウ. 遅く エ. 複雑

問14 次の文中の（ア）、（イ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

都市の繁華街や鉄道の駅の近くに大きな店舗を構えて、価格が比較的高い（ア）を中心に、衣食住について多数の商品を品ぞろえした大規模小売店を（イ）という。

- (1) ア. 買回品 イ. 百貨店
- (2) ア. 専門品 イ. 専門店
- (3) ア. 専門品 イ. 百貨店
- (4) ア. 最寄品 イ. コンビニエンスストア

問15 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

スーパーには、取扱商品や店舗規模などによっていろいろな種類がある。最寄品を中心に買回り品から専門品まで幅広く扱う大規模な（ア）、食料品を中心とした（イ）、ディスカウントタイプの総合スーパーである（ウ）などがある。

- (1) ア. スーパーマーケット イ. 総合スーパー ウ. スーパーセンター
- (2) ア. 総合スーパー イ. スーパーマーケット ウ. スーパーセンター
- (3) ア. スーパーマーケット イ. スーパーセンター ウ. 総合スーパー
- (4) ア. 総合スーパー イ. スーパーセンター ウ. スーパーマーケット

問16 卸売市場の機能について誤っているものを選びなさい。

- (1) 集荷機能
- (2) 価格形成機能
- (3) 保護機能
- (4) 決済機能

問17 次の語句の説明で誤っているものを選びなさい。

- (1) POSとは、販売時点情報管理システムのことである。
- (2) EOSとは、卸売業者と小売業者などの中でのオンラインによる補充発注システムである。
- (3) トレーサビリティとは、食品等の生産と流通に関わる履歴情報を、消費点から生産点にまでさかのぼって追跡するシステムである。
- (4) EDIとは、民間の自主的な品質管理規格である国際標準化機構のことである。

問18 次の文中の（ア）～（エ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

個々の荷物を、標準化された（ア）にまとめて、輸送、保管、荷役などを一貫して行おうという（イ）の考え方が重視されるようになってきた。代表的なものとして、荷物を積み込んで輸送する（ウ）と、積み付けた荷物を途中で下ろすことなく輸送する一貫（エ）がある。

- (1) ア．ユニット イ．ユニットシステム ウ．パレチゼーション エ．コンテナゼーション
- (2) ア．ロット イ．ロットシステム ウ．コンテナゼーション エ．パレチゼーション
- (3) ア．ユニット イ．ユニットシステム ウ．コンテナゼーション エ．パレチゼーション
- (4) ア．ロット イ．ロットシステム ウ．パレチゼーション エ．コンテナゼーション

問19 流通関連法規とその担当機関の関係で誤っているものを選びなさい。

法規名	担当機関
(1) 消費税法	国税庁
(2) 独占禁止法	財務省
(3) 製造物責任法	消費者庁
(4) 大規模小売店舗立地法	経済産業省

問20 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

ロジスティックスという言葉は、もともと（ア）であり、日本では古くから兵站という言葉が使われてきた。現在では、ロジスティックスというと、「考えて運ぶ物流」、「（イ）な物流」といった意味で使用されている。したがって、生産および物流のあらゆる段階において、部分最適ではなく全体最適を求め、実需要に基づいた「（ウ）の排除」と「スピード」を徹底的に追及する考え方である。

- (1) ア．軍事用語 イ．戦略的 ウ．無駄
- (2) ア．流通用語 イ．経済的 ウ．無駄
- (3) ア．流通用語 イ．戦略的 ウ．人材
- (4) ア．軍事用語 イ．経済的 ウ．人材

【選択問題】（食品管理分野）13問

問21 GMP基本法に関する記述で正しいものを選びなさい。

- (1) 人の食用に供する食品の製造にのみ関する適正製造規範である。
- (2) 人の食用に供する食品の包装・保管にのみ関する適正製造規範である。
- (3) 1969年に米国で施行された法律である。
- (4) 我が国では厚生労働省が、これを参考に「適正規範」を作成した。

問22 逆性石けんの使用法についての記述として正しいものを選びなさい。

- (1) 手指や器具の消毒にはあらかじめ洗剤や石けんなどを落としてから使用するのが効果的である。
- (2) 消毒力と洗浄力が強いので、石けんの代用として使用できる。
- (3) 硬水を使用すると殺菌力が強くなるので効果的である。
- (4) 逆性石けんとしてクレゾールが使われる。

問23 食品衛生上、化学的な消毒法を選びなさい。

- (1) 放射線による方法
- (2) 紫外線殺菌灯による消毒
- (3) オゾン殺菌機による方法
- (4) 日光消毒

問24 食品工場から公共用水域に排出される排水は、排水基準値以下に処理した後に排出しなければならない。この排水基準値の中には内閣府令により定められた全国一律の「一律排水基準」とは別に都道府県が条例で定めたより厳しい排水基準がある。都道府県が条例で定めたより厳しい排水基準を何と言うか、正しいものを選びなさい。

- (1) 上乘せ排水基準
- (2) 横乗せ排水基準
- (3) 特定施設排水基準
- (4) 環境保護排水基準

問25 食品工場従事者の衛生管理について正しいものを選びなさい。

- (1) 定期的な健康診断は、健康に不安がある者を対象に行う。
- (2) 帽子は毛髪をすべて覆うようにかぶり、マスクを使用する。
- (3) 作業中は指輪や腕時計をはずし、爪を短く切っておけば、マニキュア程度ならば差し支えない。
- (4) 水を使用する作業では、手荒れ防止のためにハンドクリームを使用する。

問26 水質汚濁防止法によって、公共用水域へ汚水を排出する施設を持つ工場や事業所に対して、排水基準が定められているが、この施設を何というか、正しいものを選びなさい。

- (1) 原料処理施設
- (2) 特定施設
- (3) 洗浄施設
- (4) 脱水施設

問27 悪臭原因物質と特徴に関する次の組み合わせで正しいものを選びなさい。

- (1) アンモニア：鼻をつく腐卵臭
- (2) トリメチルアミン：不快なかび臭
- (3) 硫化水素：鼻をつく刺激臭
- (4) 低級脂肪酸：酸敗臭

問28 食品添加物に設けられている基準について、誤っているものを選びなさい。

- (1) 食品添加物を製造または加工するときの「製造基準」
- (2) 食品添加物を保存するときの「保存基準」
- (3) 食品添加物を販売するときの「販売基準」
- (4) 食品添加物を使用するときの「使用基準」

問29 食品表示について正しいものを選びなさい。

- (1) 特定原材料：特にアレルギーを起こしやすい品目。
- (2) 消費期限：劣化速度が比較的緩慢な食品。
- (3) 賞味期限：劣化速度が速い食品。
- (4) 栄養成分：熱量，タンパク質，脂質などの成分を指す。表示義務はない。

問30 経営と組織について、誤っているものを選びなさい。

- (1) 事業運営の最高責任者が経営者である。
- (2) 同種類の作業の中での責務や仕事内容（部長・課長・係長）の分化を水平的分化という。
- (3) 経営組織のそれぞれの部門において、専門的に指揮・管理する者が管理者である。
- (4) 企業規模が大きくなると、仕事を分担する仕組みが必要となる。これが仕事の分化である。

問31 生産管理の原則と言われる「4つの手順：PDCAサイクル」のうち、誤っているものを選びなさい。

- (1) Plan（目標・計画を立てる）
- (2) Do（計画に従って実施する）
- (3) Change（結果に改善点を加える）
- (4) Action（結果を反省し、必要があれば計画の修正などの処置をとる）

問32 微生物実験についての注意事項で正しいものはいくつあるか、選びなさい。

- ア 白衣のまま大勢の人のいる場所などに外出すべきではない。
 - イ 実験室の窓を開放し、雑菌を外に追い出すようにする。
 - ウ 実験室内の清掃は、雑菌を拡散するので、あまりしない方が良い。
 - エ 微生物実験で培養を終了したあとの材料は、必ず蒸気滅菌してから洗浄しなければならない。
- (1) 1つ (2) 2つ (3) 3つ (4) 4つ

問33 化学分析に関する次の記述について、正しいものを選びなさい。

- (1) 化学分析は主として物質の成分を検出する定量分析と、その成分の組成（割合）を調べる定性分析に分けられる。
- (2) 定量分析は、物質の成分が示す炎色反応、呈色反応、沈殿反応などを利用して、物質の成分を検出する方法である。
- (3) 定量分析は、取扱う試料の量によって常量分析法、半微量分析法及び微量分析法に分けられる。
- (4) 定量分析は、揮発法、沈殿法、抽出法、電解重量法の4種類に分類でき、そのうち沈殿法が最もよく用いられている。

【選択問題】（食品流通分野）13問

問21 次の文中の（ア）～（エ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

生産者から消費者の物流は、まず古代の（ア）で始まった。次いで貨幣を用いた売買による間接的な交換が行われるようになり、流通業の原点である（イ）が発生した。

明治時代の産業革命以後、流通業は細分化し、近年では、（ウ）を介さず直接生産者と取引する流通経路も構築されており、流通の主導権を（エ）が握るようになった。

- (1) ア. 物々交換 イ. 金融業 ウ. 小売業 エ. 仲介業
- (2) ア. 物々交換 イ. 売買業 ウ. 仲介業 エ. 小売業
- (3) ア. 売買業 イ. 物々交換 ウ. 小売業 エ. 仲介業
- (4) ア. 売買業 イ. 金融業 ウ. 仲介業 エ. 小売業

問22 次の文中の（ア）、（イ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

近年は、（ア）やアウトレットモール、コンビニエンスストアなどの台頭による小売業の競争激化、商品の需給バランスの逆転、流通の国際化などを背景として（イ）が流通の主導権を握るようになっているが、食品についても全く同様な傾向をたどっている。

- (1) ア. 百貨店 イ. 小売業
- (2) ア. ディスカウントストア イ. 小売業
- (3) ア. 百貨店 イ. 流通業
- (4) ア. ディスカウントストア イ. 流通業

問23 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

多くの消費者が日頃同じ用途に使う商品は、使用条件に合わせて適切な1つの基準を作り、形状や基本的に性能の同じ商品が大量に作られている。これを商品の（ア）という。我が国では日本工業規格（イ）や日本農林規格（ウ）がある。

- (1) ア. 標準化 イ. J A S ウ. J I S
- (2) ア. 製品化 イ. J A S ウ. J I S
- (3) ア. 製品化 イ. J I S ウ. J A S
- (4) ア. 標準化 イ. J I S ウ. J A S

問24 食料品の特性について、次のア～エのうち正しいものの組み合わせを選びなさい。

- ア 食料品の特性は、食物としての特性と商品としての特性がある。
- イ 食料品は栄養素を含むことが必要である。
- ウ 食料品は安全でなければならない。
- エ 食料品は多様な種類がある。

- (1) ア. イ. ウ. エ
- (2) イ. ウ. エ
- (3) ア. イ. エ
- (4) イ. エ

問25 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

小売業者は、生活用品の（ア）経路の末端にあり、消費者の必要とする商品を卸売業者や（イ）から仕入れ、（ウ）に販売することを専門の業務とする売買業者である。

- (1) ア. 物流 イ. 生産者 ウ. 消費者
- (2) ア. 流通 イ. 生産者 ウ. 消費者
- (3) ア. 流通 イ. 消費者 ウ. 生産者
- (4) ア. 物流 イ. 消費者 ウ. 卸売業者

問26 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

商品カタログやテレビ、新聞、雑誌、（ア）などによって商品を紹介し、電話や郵便、（イ）などで注文を受けて商品を販売する方法である（ウ）は、女性の社会進出などにより売り上げが増大している。

- (1) ア. インターネット イ. 電子メール ウ. 通信販売
- (2) ア. 街頭 イ. 宅配便 ウ. 通信販売
- (3) ア. インターネット イ. 宅配便 ウ. 訪問販売
- (4) ア. 街頭 イ. 電子メール ウ. 訪問販売

問27 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

卸売業者は、流通経路の中間にあって、商品を（ア）または卸売業者から仕入れ、これを（イ）や大口消費者に販売することを専門の業務とする（ウ）業者である。

- (1) ア. 生産者 イ. 商社 ウ. 情報
- (2) ア. 消費者 イ. 小売業者 ウ. 輸送
- (3) ア. 生産者 イ. 小売業者 ウ. 商
- (4) ア. 小売業者 イ. 商社 ウ. 金融

問28 次の文中の（ア）、（イ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

鉄鋼・家庭用電気製品などの（ア）に生産される商品分野に多く見られる卸売業者で、1社または比較的少数の生産者から仕入れて、二次卸売業者・小売業者・大口消費者などに販売する卸売業者を（イ）という。

- (1) ア. 小規模 イ. 集散卸売業者
- (2) ア. 大規模 イ. 元卸売業者
- (3) ア. 大規模 イ. 集散卸売業者
- (4) ア. 小規模 イ. 元卸売業者

問29 E O Sシステムについて誤っているものを選びなさい。

- (1) 誰でも早く、正確に、容易に発注できる。
- (2) 必要量だけを発注できるので、適正な在庫管理ができる。
- (3) 発注者は適正な在庫管理ができるが、卸売業者のメリットはほとんどない。
- (4) 発注先が数カ所あっても、1回の発注ですむ。

問30 水産物の価格形成について誤っているものを選びなさい。

- (1) 水産物は、生産者から委託を受けた産地卸売業者が主にせりや入札で産地仲卸業者に販売し、ここで産地価格が決まる。
- (2) 産地仲卸業者は、加工業者や地元小売店などに販売したり、消費地市場へ向けて出荷する。
- (3) 仕入価格に仕入れのために要した運賃や保険料、保管料などの仕入諸掛を加えたものを仕入原価という。
- (4) 仕入価格に、販売員の給料、広告費、光熱費などの営業費を加えたものを販売価格という。

問31 食品の包装資材について誤っているものを選びなさい。

- (1) 近年、缶や瓶に替わる包装材料としてアルミニウムを主体とした優れた特性を持つ包装材が開発された。
- (2) 食品の包装資材は、食品容器とともに「食品衛生法」に基づいて厳密に規格化されている。
- (3) 包装材料や容器に関連する各業界では、安全自主基準を定めて、安全が確認された資材について関連業界の認証や合格証を発行している。
- (4) 環境対策として、包装資材のリサイクルやリユースを推進することも重要である。

問32 次の文中の（ア）～（ウ）に入る適切な語句の組み合わせを選びなさい。

製造物責任法は、消費者が欠陥商品により身体や財産上の被害を被った場合に、（ア）に責任をとらせ、また製造業者の（イ）確保への努力を促進することを目的として、製造業者の過失、無過失を問わず（ウ）があるとするものである。

- （1）ア．個人 イ．安全 ウ．責任
- （2）ア．企業 イ．安全 ウ．責任
- （3）ア．個人 イ．責任 ウ．安全
- （4）ア．企業 イ．責任 ウ．安全

問33 食品流通に関する法規について誤っているものを選びなさい。

- （1）生鮮食料品の価格の安定と流通の円滑化を図ることを目的に制定されたものを卸売市場法という。
- （2）自社や自分が生産、加工あるいは販売している商品に使用される商標を保護することにより、需要者の利益を保護することを目的に制定されたものを商標法という。
- （3）発明の保護および利用を図ることにより、発明を奨励し、もって産業の発達に寄与することを目的に制定されたものを実用新案法という。
- （4）工業上の物品の意匠（デザイン）の保護と利用を図ることにより、意匠の創作を奨励し、産業の発達に資することを目的として制定されたものを意匠法という。